

# 44.5

結婚を考える



## 審議会等における女性委員の登用

男女が互いを尊重し共に活躍できる男女共同参画社会を実現するためには、政策・方針決定過程に双方の意見が等しく反映されることが必要です。

そこで京都市では、男女共同参画推進条例において「政策等の立案から決定までの過程における男女共同参画」を掲げ、平成22年度末までに、市の設置する審議会等について女性委員のいない審議会等を早期に解消し、男女いずれの割合も3.5%を下回らない委員構成を確保することを目標に、女性委員登用にに向けた取組みを行っています。

平成16年度末の女性委員の登用率は27.7%で前年同期より0.9ポイントアップしています。男女がそれぞれの視点から意見を取り交わす場をもつことは、男女が共に暮らしやすいまちづくりにつながります。まだ目標達成には至りませんが、今後とも積極的な取組みを進めてまいります。

## 京都市男女共同参画推進課より

京都市の審議会等における女性委員登用状況推移



## ウィングス京都より

ウィングス京都図書情報室で所蔵する資料の中から、「現代の結婚事情」に関する資料をご紹介します。

※ウィングス京都の所蔵資料はホームページから検索できます。

### 結婚の社会学

未婚化・晩婚化はつづくのか

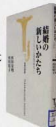
山田昌弘著  
丸善ライブラリー  
○請求記号 71/ヤ



### 結婚の新しいかたち

フレキシブル結婚の時代

西川栄明著  
西川晴子著  
宝島社  
○請求記号 71/ニ



### イマジン (全11巻)

植村さとる著  
集英社

○請求記号 C/マ  
※コミックは、図書情報室内での閲覧のみとなります。



男女交際のあり方は変化したが、結婚に関する意識は変わらない—結婚願望が充実しているにもかかわらず、初婚年齢が上昇し独身者が増加する—という現代日本の結婚事情を分析する。

従来の結婚観にとらわれず、柔軟な考え方で結婚する時代。自らも自立婚を实践し、夫婦別会計方式で生活する著者が、実際の夫婦事例などを紹介する。

主人公の母、美津子は自分の人生を自分で選び取っていく女性。年下の恋人と結婚にいたるまでの過程は、ぶつかりあい時間を分ち合つてつくり上げた信頼の強さを感じさせ、自立した大人の関係をすすがしく提示する。

京都市文化市民局  
共同参画社会推進部男女共同参画推進課  
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る  
Tel.075-222-3091 Fax.075-222-3223  
http://www.city.kyoto.jp/bunshidandjo

財団法人京都市女性協会  
〒604-8147 京都市中京区東洞町六角下角下御射山町262  
Tel.075-212-7490 Fax.075-212-7460  
http://wings-kyoto.jp

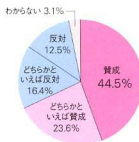




## 結婚を考える

「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい」という考え方について

内閣府 男女共同参画社会に関する意識調査  
(平成16年11月より)



20代の後半から30代の独身の男女が増えています。多くの場合、積極的にシングルであることを選んでいるというよりはむしろ、「結婚したいけれどもできない」、「家敵なパートナーが見つければ結婚したい」というケースも多数存在しているというのが実情のようです。パートナーに求める条件もさまざまです。

男性に経済力を求める女性もいますが、家庭や地域にもっとかわりたい男性の中には、経済力があり働き続ける女性が理想という人もあるでしょう。独身の男女が増えた背景には、自分に合った結婚相手が見つかるまで結婚に踏み出せない人が増えたという状況があるのではないのでしょうか。

平成16年11月に国が行った調査では、「結婚

は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい」という考えに「賛成」とする人の割合が44・5%、「どちらかといえば賛成」という人も合わせると、全体の68・1%となっています。

結婚は、しなくてはならないものというよりは、生き方のひとつであるという捉え方に変わってきているのではないのでしょうか。

あなたはこれからの人生を、どのような人と、どのような関係を築きながら暮らして行きたいですか？

結婚に対するさまざまな条件に「だわるよりも、お互いに足りないところを補い合って一緒に生きていく」と努力できるパートナーを見つめるのが大切なのではないでしょうか。